

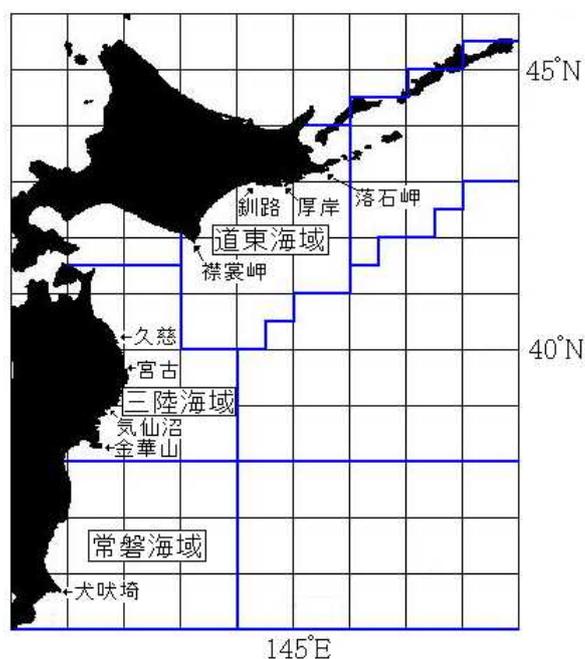
## 2022年度 第2回サンマ中短期漁況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し一般社団法人漁業情報サービスセンターがとりまとめた結果 －

### 今後の見通し(2022年9月下旬～11月上旬)のポイント

#### 来遊量

- ・道東海域では、10月上旬になると来遊する可能性があるが、来遊量は少ない。
- ・三陸海域では、10月下旬になると来遊があるが、来遊量は少ない。



海域の名称

### 問い合わせ先

一般社団法人漁業情報サービスセンター 水産情報部  
担当：渡邊、藤井  
電話：03-5547-6889、ファックス：03-5547-6881  
当資料のホームページ掲載先URL  
<http://www.jafic.or.jp/information/category/news/>

# 2022年度 第2回サンマ中短期漁況予報

## 1. 今後の見通し

予測期間：2022年9月下旬から11月上旬までの旬別

対象海域：道東海域、三陸海域

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

### 1) 道東海域

#### (1) 来遊量

9月上旬は、8月下旬に引き続き道東海域よりもかなり沖合の公海にしか漁場は形成されず、道東海域には漁場となるような魚群は分布していなかった。これらのことから、9月下旬は、道東海域への魚群の来遊は無い。道東海域よりも東沖の公海における来遊量は、9月下旬は低水準であり、前年よりも少ない。10月上旬～11月上旬に、沖合から道東海域に魚群が来遊する可能性もあるが、来遊量は前年並みで少なく、来遊は断続的である。多くの魚群は、道東海域よりも東～南側を南下し、道東近海に来遊する群は極めて少ない。

#### (2) 漁場

9月下旬は、道東海域には漁場は形成されず、主漁場は道東海域より東側の公海となる。道東海域では、10月上旬～11月上旬に、落石沖の沿岸から離れた沖合に散発的に漁場が形成される。

### 2) 三陸海域

#### (1) 来遊量

9月下旬～10月中旬は、来遊は無い。10月下旬～11月上旬に断続的な来遊があるが、来遊量は前年同様少ない。

#### (2) 漁場

10月下旬～11月上旬は、三陸海域に漁場が形成される可能性があるが、漁場は三陸沿岸から離れた沖合となる。

## 2. 予測の概要

| 海 域  |     | 9月下旬 | 10月上旬 | 10月中旬 | 10月下旬 | 11月上旬 |
|------|-----|------|-------|-------|-------|-------|
| 道東海域 | 来遊量 |      | — →   | — →   | — →   | — →   |
|      | 動向  |      | 断続的   | 断続的   | 断続的   | 断続的   |
|      | 漁 場 |      | 落石沖   | 落石沖   | 落石沖   | 落石沖   |
| 三陸海域 | 来遊量 |      |       |       | — →   | — →   |
|      | 動向  |      |       |       | 断続的   | 断続的   |
|      | 漁 場 |      |       |       | 三陸沖合  | 三陸沖合  |

### 3. 漁況の経過概要 (9月上旬)

#### 1) 道東海域

##### (1) 来遊量

今年は、前年同様、道東海域に漁場は形成されず、道東海域における来遊量は極めて少ない。

主漁場は、8月下旬同様、道東海域より東側の公海であった。1日1隻あたり最高で20トン程度漁獲した船はあったが、多くの船の漁獲量は少なかった。CPUE(1網あたりの漁獲量)は8月下旬よりやや増加したものの、前年同様少なかった。これらのことから、魚群は道東海域よりもさらに沖合に分布しており、分布量は前年並みに少なかった。

##### (2) 漁場

道東海域に漁場は形成されなかった。主漁場は、道東海域東側の公海、落石東南東～東北東沖の390～710海里であった。8月下旬よりも西側に漁場が形成されたものの漁場は遠く、小型船の多くは出漁できなかった。

落石東390～420海里の漁場水温19～21℃では、9月3日夜以降、大型船数隻～25隻程度操業し、最高5.5トン、平均1.3トン漁獲した。

落石東～東北東沖の460～560海里の漁場水温19～21℃では、大型船数隻～25隻程度操業し、最高20トン、平均6.2トン漁獲した。

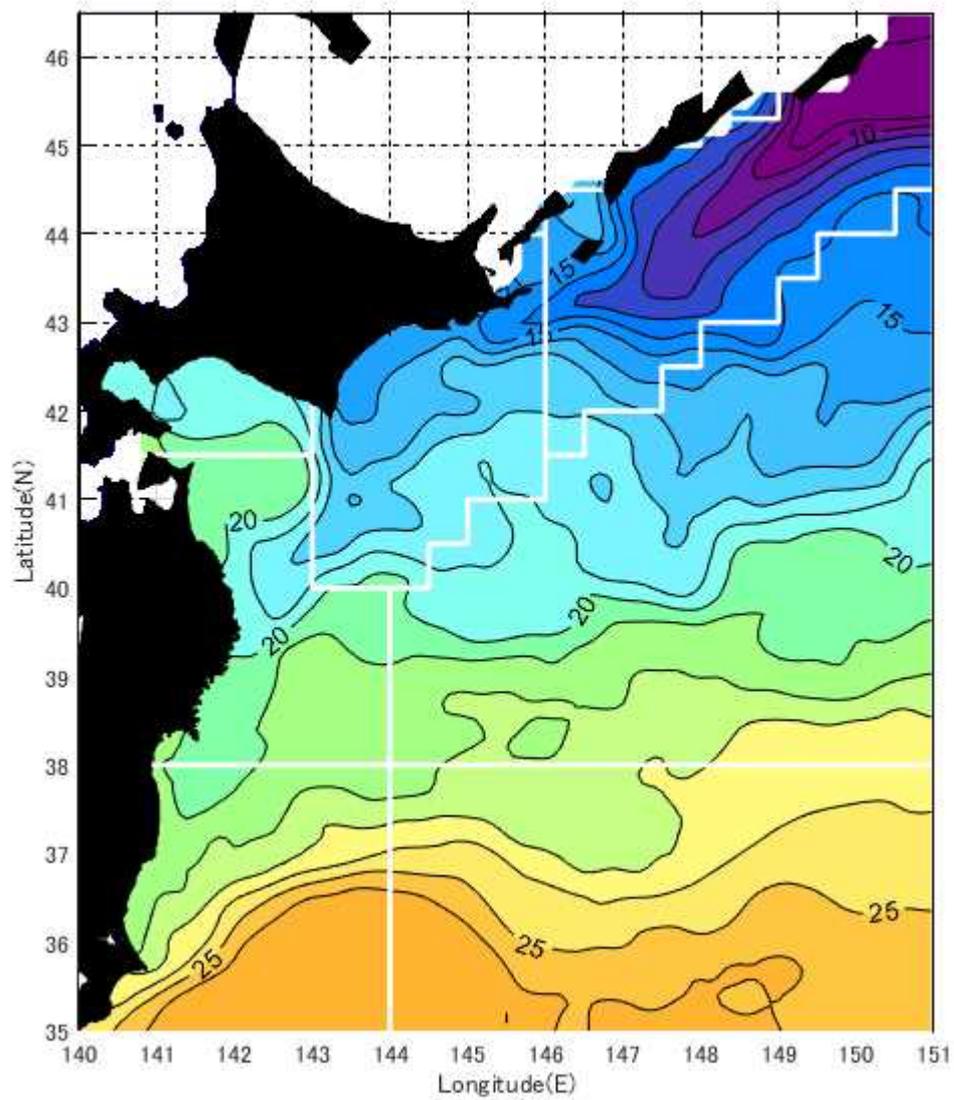
落石東～東南東沖の630～710海里の漁場水温20～23℃では、大型船数隻～40隻程度し、最高6.5トン、平均2.4トン漁獲した。

##### (3) 魚体

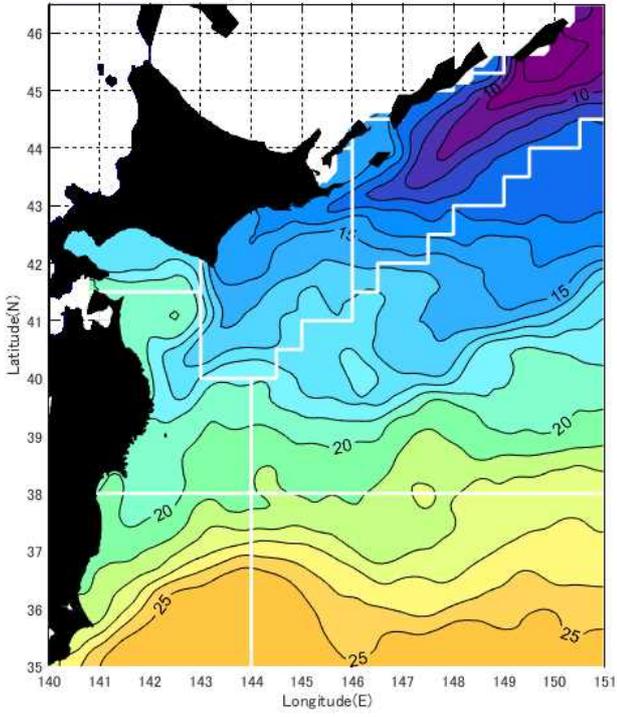
道東海域よりも東側の、落石東～東北東沖の390～560海里では、体長27～29cmモードであった。体重は70～90g台が主体であった。また落石東～東南東沖の630～710海里では、体長25～28cmモードであった。体重は60～90g台が主体であった。前年よりも魚体は小さかった。

#### 4. 予測水温分布図

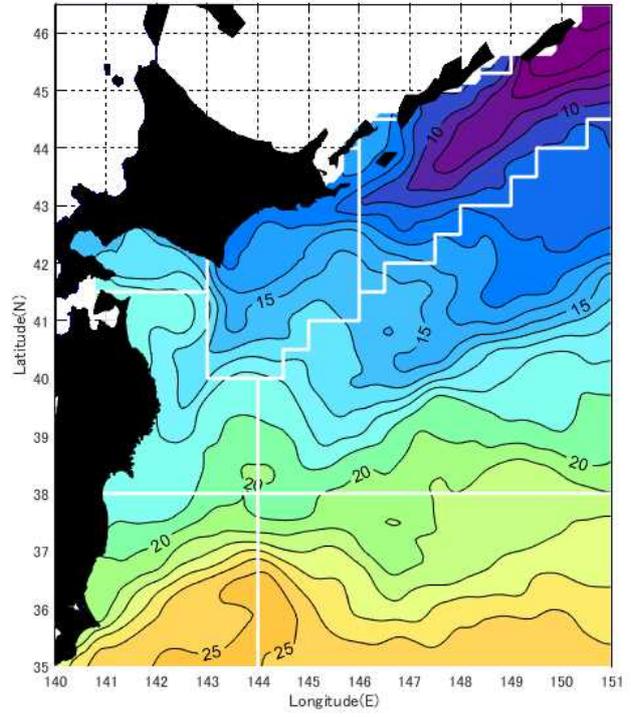
9月下旬予測表面水温分布図



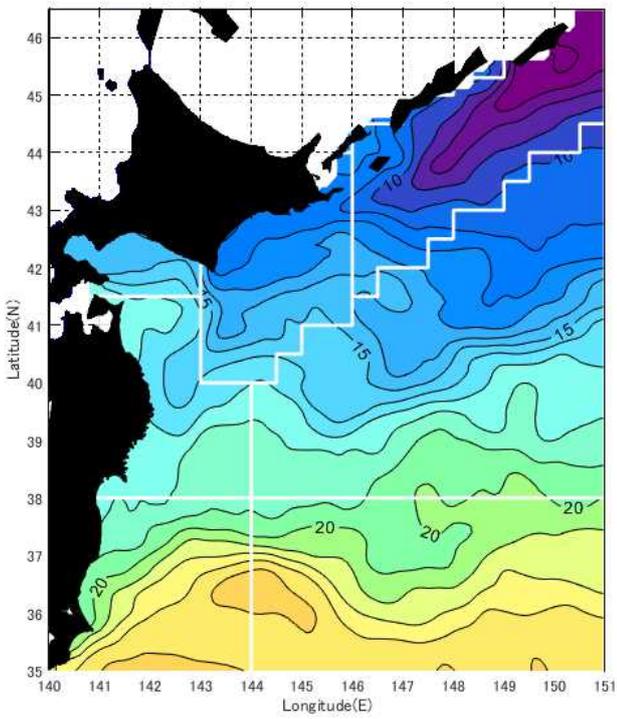
10月上旬予測表面水温分布図



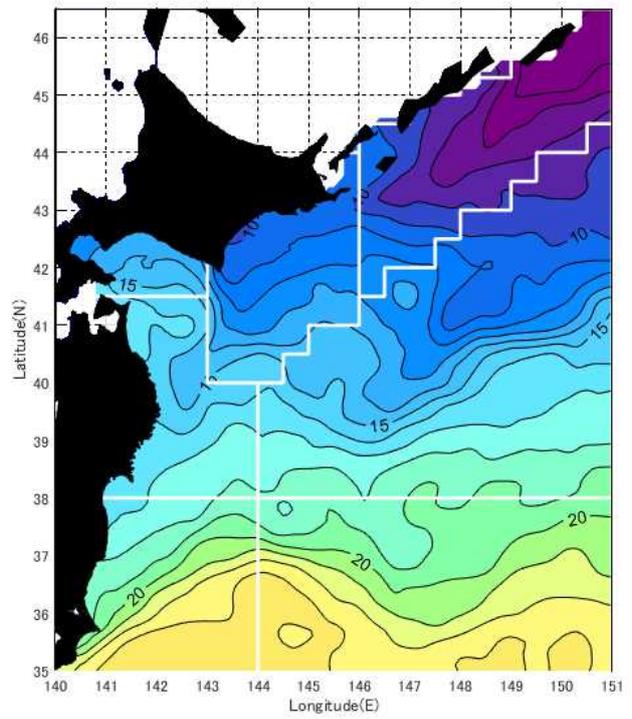
10月中旬予測表面水温分布図



10月下旬予測表面水温分布図



11月上旬予測表面水温分布図



## 参 画 機 関

|  |  |
|--|--|
| <p>地方独立行政法人 北海道立総合研究機構<br/>水産研究本部 釧路水産試験場</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産海洋研究センター</p> | <p>茨城県水産試験場</p> <p>千葉県水産総合研究センター</p> <p>国立研究開発法人 水産研究・教育機構<br/>水産資源研究所</p> <p>(取りまとめ機関)</p> <p>一般社団法人 漁業情報サービスセンター</p> |
|--|--|